

平成 29 年第 4 回川本町議会定例会会議録

(第 1 日目) 平成 29 年 12 月 8 日 午前 9 時 30 分開議

議 長

おはようございます。
定刻となりましたので、ただいまより本会議を開きます。

々

本日、平成 29 年第 4 回川本町議会定例会が招集されましたところ、ご多忙の中、ご出席をいただきまして、ありがとうございました。

々

ただいまの出席議員数は 9 名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

々

これより、平成 29 年第 4 回川本町議会定例会を開会します。

々

それではただちに、本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、お手元に配布しているとおりです。

々

日程第 1「会議録署名議員の指名」を行います。
会議録署名議員は、会議規則第 124 条の規定により議長において、4 番石川議員、5 番片岡議員を指名します。

々

日程第 2「会期の決定」の件を議題とします。
本定例会の会期は、あらかじめ議会運営委員会において協議されています。その結果については、お手元に配布しております「審議予定表」(案)のとおり、本日 8 日から 13 日までの 6 日間とし、本日は諸般の報告、町長行政報告、議案の提案及び提案理由の説明、全体審議、質疑を行います。

々

本会議の後、全員協議会を開催し、引き続き議会運営委員会を開催し、常任委員会を開催する予定としております。

々

11 日は休会とします。

々

12 日は、午前 9 時 30 分より本会議を開き、一般質問を行います。
本会議終了後、議会運営委員会を開催します。

々

13 日の最終日は、午後 3 時より本会議を開き、全体審議で討論を行い、採決となります。

々

以上、この予定表(案)のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

議 長	<p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>異議なしと認めます。</p>
々	<p>よって、本定例会の会期は、本日 8 日から 13 日までの 6 日間とすることに決定しました。</p> <p>なお、一般質問の通告は、本日の午後 1 時までとしておりますので、申し上げます。</p>
々	<p>お諮りします。</p> <p>本議会における会議録の作成において、発言中の単純な言い間違いなどの訂正については、会議規則第 63 条の規定により、発言の趣旨を変更しなければ訂正できることになっています。</p> <p>これに該当する訂正については、議長において訂正することにご異議ありませんか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>異議なしと認めます。</p>
々	<p>よって、そのように「決定」しました。</p>
々	<p>日程第 3 「諸般の報告」を行います。</p> <p>議長としての報告事項は、お手元に配布しております「議長報告、議員派遣の件」のとおりでございますので、ご覧いただきたいと思います。</p>
々	<p>以上で「諸般の報告」を終わります。</p>
々	<p>日程第 4 「町長行政報告」を行います。番外三宅町長。</p>
番外 三宅町長	<p>皆さん、おはようございます。</p> <p>平成 29 年第 4 回町議会定例会を招集致しましたところ、議員の皆様には、師走に入り何かとご多用のところ万障お繰り合わせの上ご出席を賜り誠にありがとうございます。今年も「光陰矢のごとし」、1 年が瞬く間に過ぎ去る感じがしております。</p>
々	<p>開会にあたり、諸議案の説明に先立ちまして諸般の事項についてご報告申し上げます。</p>
々	<p>先月には第 4 次安倍内閣が発足しました。衆議院議席 3 分の 2 を与党で占める安定基盤を背に、憲法改正も視野に入れ日本の進路の分かれ目に立つ歴史的な政権になりそうであります。また、北朝鮮情勢は緊迫した状況が続いており、新しい内閣のもとで、適切な対策をとられる事を期待するものであ</p>

番外

三宅町長

ります。

川本町は非核三原則の堅持とともに、あらゆる国の核実験、核兵器の使用に反対し、核兵器の廃絶を目指し、安全で住みよい町を実現するため、「非核平和の町」宣言をしたいと考えております。

このたびの選挙では、地方創生の最中にありながら地方のことが話題にあがりませんでした。島根県からは再選された方々に加え、お二人が新しい議員となられ地方の声が国政に活かされるよう、ご活躍を期待するものであります。

先月内閣府が発表した国内総生産GDPの速報値は、個人消費は減少したものの企業業績が好調で16年ぶりに7四半期連続のプラス成長となっておりますが、地方経済にはその実感がないところであります。

々

今年も九州北部豪雨災害や台風被害など、全国各地で大きな自然災害が発生しました。本町におきましても、大雨警報や台風の接近に伴って警戒体制を敷いて、災害に備えてまいりましたが、幸いにして大きな被害もなく、胸をなでおろしているところであります。

11月6日には、前消防庁次長の大庭誠司^{おおば せいじ}氏を招き防災講演会を開催致しました。自治会長ら110人の出席があり、自主防災組織の重要性や国の危機管理の在り方を分かり易く学びました。これからも危機管理意識を常に持ちながら災害に備えてまいります。

々

三江線廃止後の代替バスの運行につきましては、運行事業者、ルート、停留所、車輛、運行本数等が決定しております。運行ダイヤについては、島根中央高校の通学時間を考慮し、運賃につきましては鉄道の概ね2倍程度で調整している状況でございます。なお、ランニングコストのJR負担につきましては、県とJRで協議がなされています。

鉄道資産の活用につきましては、JRから再提案された内容を踏まえ、三江線鉄道資産活用検討委員会において協議した結果を、本定例会の全員協議会で報告いたしますので、方向性についてご審議いただき最終的な鉄道資産の取り扱いを決定したいと考えております。

々

島根中央高等学校創立10周年記念式典が11月19日に、悠邑ふるさと会館で開催されました。参列した約400人が、これまでの歩みやこれから更なる発展に向け、新たに気持ちをひとつにしたところであります。

また、記念講演では元阪神タイガースの今岡誠^{いまおかまこと}氏を招き、プロとして生きるための貴重なお話を伺いました。今後も高校と連携して高校魅力化に取り組んでまいります。

々

次に、平成30年度予算編成方針について申し上げます。

番外 三宅町長	<p>地方交付税について、財務省から一定額以上の基金を積み立てている市町村に対し減額する動きがあり注視しているところであります。編成方針の基本的な考え方については、昨年度に引き続き、川本町第5次総合計画と川本町総合戦略に掲げる目標を達成するため、人口減少対策に重点的に取り組む事としております。中でも企業誘致の取り組みについては、予算特別枠を設け、最優先で事業に取り組んでまいります。その一方で、経常経費については、その必要性や有効性を十分に検証するとともに、特に施設の運営経費については、前年度予算の5%削減という具体的な目標を定め、徹底した見直しを行うこととしております。また、平成27年度末に策定した川本町公共施設等総合管理計画の推進に向けて、遊休施設の除却等により、保有施設の削減に積極的に取り組む事としております。</p>
々	<p>それでは、町行政の主な動きにつきまして順次ご報告申し上げます。</p>
々	<p>まず、「特色を活かした活力あふれる産業のまち」に関する動きについてであります。</p>
々	<p>はじめに、「米の生産振興について」申し上げます。</p> <p>平成29年産米の作況指数は、全国で「平年並み」、島根県は石見部、出雲部とも「やや良」となりました。</p> <p>また、JA島根おおち川本支所管内の1等米比率は87.8%で、前年の86.9%を上回っております。</p> <p>30年産米からは、島根県農業再生協議会が生産数量を示すこととなっており、12月上旬には各地域再生協議会へ通知される予定となっております。</p>
々	<p>次に、「畜産振興について」申し上げます。</p> <p>JA島根おおち地区本部管内子牛共進会<small>こ う し き よ う し ん か い</small>が11月7日、石見畜産センター<small>う え だ け ん と く</small>で開催され、上田憲徳さんの「めぐみのいと号」が首席を受賞されました。市場の子牛価格は、70万円代で推移しており、今後も優良牛の生産に向け、関係機関と連携を図りながら振興に努めてまいります。</p>
々	<p>次に、「エゴマの生産振興について」申し上げます。</p> <p>今年のエゴマの作付面積は、昨年より1.61ヘクタール増の20.73ヘクタールで、生産者は62戸となっております。また、作柄は昨年に比べ、生育が良い傾向となりました。</p> <p>川本町エゴマ振興協議会の生産部会では、収穫適期の見極めや収穫後の管理方法などを巡回研修するとともに、大田市でのエゴマ用コンバインによる刈取視察等も行い、部会全体で課題を共有し、川本町全体の生産性向上に取り組んでおります。</p>

番外
三宅町長

次に、「商業振興について」申し上げます。

中小企業・小規模企業振興基本条例では、円滑な事業継承の推進が重点の一つになっている中、１１月２８日には商工会を事務局とし、川本町事業承継推進協議会が発足いたしました。

関係機関が定期的に情報交換を行いながら、事業承継の諸課題に取り組んでまいります。

なお、個人事業主が町の地域商業支援事業を活用し、弓市商店街の空き店舗で、女性専用のエステティック業を１０月に開業されました。

々

次に、「観光振興について」申し上げます。

三江線を利用した観光客の状況につきまして、お昼便の平均乗客は１００人を超え、特に１０月以降は２００人を超える日も多く、商店や町民有志、高校生、観光協会、町職員が中心となって対応しております。

１１月８日に開催したＪＲ三江線石見川本駅開業８３周年記念イベントでは、昭和９年当時の貴重な写真や記念切符を展示するとともに、川本小学校４年生１９人が、プラットホームで子ども心で純粋に川本のエゴマと川本町のＰＲに努め、その姿に感銘したところでございます。

駅前の「三江線おもてなしサロン」では、廃止１年前の３月末からサロン来場者をカウントした記念切符を配付しておりますが、１１月２４日には１万人に達しております。

廃止後の誘客や商店街への影響が課題となる中、乗客の方々を中心にアンケートや要望調査を実施したところでありまして、この内容を分析し、今後の事業展開に向け商工会や商店等と共有することとしております。

イベント関係につきましては、９月３０日、１０月１日「輝けイレブン町村フェスティバル」、１１月５日「第４１回川本町産業祭」、１１月１２日「川本北地区農業収穫さんさい祭」、１１月１１日、１２日「坂町・川本町特産品フェア」、また１１月２５日には、道の駅登録１０周年を迎えた道の駅インフォメーションセンターかわもとで「記念感謝祭・萬菜市」があり、特産品販売や伝統芸能等を通し、多くの来場者で本町をＰＲする機会となりました。

１２月２３日には、松江市で「島根スサノオマジック・川本町タウンデー」、来年１月２０日、２１日には、広島市で「島根ふるさとフェア」が予定されており、特産品販売や観光・移住情報等を発信しながら、誘客につなげてまいります。

々

次に、「６次産業化について」申し上げます。

５月から稼働した鴨処理加工施設につきましては、９月以降、毎月２００羽を超える処理を行っており、今後も計画的に増産していくこととなっております。「えごま鴨」は、年末商戦に向け、ロース肉スライスやローストの販売が予定されております。

番外
三宅町長

また、I ターン者の^{しばはらのぶゆき}柴原信行さんは、エゴマの生産から加工、販売までの一貫体制を確立され、自家ブランド「アグリムーン」のえごま油の販売が始まっております。

こうしたエゴマ関連商品について、町として高級食品取り扱い店舗等への販路拡大を支援しているところであります。

また、個人企業が町の6次産業化補助金を活用し、自動真空包装機等を設け、三原産米の真空餅など、農産加工品を県外へ安定的に販売している取り組みも進んでおります。

々 つづいて、「便利で快適に暮らせる基盤が整うまち」に関する動きについてであります。

々 はじめに、「住宅整備について」申し上げます。
今年度の定住促進住宅整備につきましては、多田地区に3棟の整備を進めております。先日入居者を決定し、4月には県内外から3世帯13人の新しい住民を迎えることとなっております。

々 次に、「町営住宅の改善について」申し上げます。
平成28年度に改訂した「川本町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、改良住宅の屋上防水工事を実施するとともに、川本団地1号棟のエレベーター設置工事設計業務と谷戸住宅の屋根替え工事を発注いたしました。

々 次に、「道路整備について」申し上げます。
町道中倉日向線改良工事につきましては、今年度事業として本線掘削工事が終了し、現在、ブロック積工事を施工中であり、11月末現在の進捗率は85%となっております。
町道三原古市線新設工事につきましては、第1工区、第2工区とも本線の伐採が完了し、掘削工事に入っております。11月末現在の進捗率は、第1工区48%、第2工区41%となっております。
一般県道川本大家線は、三俣地内の落石に伴い通行止めですが、既に迂回路の仮橋も完成し、12月22日、午後3時より片側交互通行により通行止めを解除する予定と報告を受けております。

々 次に、「簡易水道について」申し上げます。
国の簡易水道再編推進事業と生活基盤近代化事業を活用して、老朽化している配水管及び浄水施設の整備を実施しております。
繰越事業の川本東大橋の配水管布設替え工事につきましては、11月末をもちまして全ての工事が終了しております。
今年度の事業につきましては、因原浄水場の施設整備および紫外線殺菌装置の整備工事、配水池新設工事に伴います送水管および配水管の布設替え工

番外
三宅町長

々

事が、順調に進んでおり、全て今年度末に完成する予定となっております。

次に、「水防災・治水対策について」申し上げます。

本町の長年の懸案事項であります、水防災事業、治水対策の早期事業実施に向け、11月に県選出国會議員、国土交通省に対し強く要望をしております。

瀬尻・久料谷地区の水防災事業については、来年度より事業着手に向け、11月に地元期成同盟会と国土交通省との間で、具体的な協議を行ったところでございます。

谷戸・谷・日向地区の治水対策におきましても、早期に着工されるよう、引き続き強く要望をまいります。

々

つづいて、「安心して暮らしやすい生活環境のまち」に関する動きについてであります。

々

はじめに、「まげなねっとかわもとについて」申し上げます。

有線テレビ放送では、町の文化遺産を、後世に引き継ぐことを意識した本町ならではの番組づくりに取り組んでおります。引き続き町民の皆様への情報提供とともに双方向の視点を大切にして親しまれる番組づくりを目指してまいります。

々

次に、「交通安全・防犯対策について」申し上げます。

11月2日、松江市で開催された「交通安全高齢者の主張島根県大会」に石東ブロック代表として、意見発表された本町の中垣恵子さんが、見事、優秀賞の島根県交通安全協会会長賞を受賞されました。より一層交通安全意識の高揚につながることを願っております。

また、12月1日に「歳末特別警戒の出動式」を行いました。川本警察署や川本町消防団、地域安全推進指導員をはじめ、防犯ボランティアの方々とともに歳末時期の防犯対策を徹底し、犯罪や火災などがおきないように、地域の防犯活動の取り組みを更に強化することを確認しました。

々

次に、「消防団について」申し上げます。

本町消防団は、現在4分団体制で団員175人、定員に対し充足率98%の状況であります。分団によっては団員の確保が難しい状況にあるため、この度分団の再編成を行うことといたしました。

三俣、湯谷、笹畑地区を活動区域としている第三分団について、隣接の分団との再編成を行い、平成30年4月1日からは3分団体制で活動することといたしました。

これまでと同様に火災予防や災害時の対応など地域の安全対策に取り組んでまいります。

番外 三宅町長	<p>つづいて、「みんなが健康で安心にいきいきと暮らせるまち」に関する動きについてであります。</p>
々	<p>はじめに、「国民健康保険について」申し上げます。</p> <p>来年４月の都道府県化に向けて、県を中心に負担金や保険料負担などの積算作業が進んでおります。</p> <p>保険税水準につきましては、これまで、県一本化に向け保険税水準を上げてきましたので、新年度に向けては、現行水準を上回らないよう設定していきたいと考えております。特に軽減を受けられる世帯などの保険税が上昇することのないよう検討を進めていくこととしております。</p>
々	<p>次に、「介護予防について」申し上げます。</p> <p>介護予防日常生活支援総合事業の開始に伴い、要介護認定の更新に合わせ、随時移行を行っております。移行の際には、本人の心身の機能維持、向上に向けたケアマネジメントを行っており、概ね現行相当のサービスを提供するなど、スムーズな移行ができていると考えております。</p> <p>介護予防・生活支援サービスの強化については、各公民館単位に生活支援コーディネーターを配置するとともに、集いの場としてのサロンの充実を図っています。</p> <p>また、助け合い活動により地域で生活を支援するボランティアの登録を三原の郷未来塾と川本町社会福祉協議会で行っており、未来塾では、これまでの草刈り等の生活支援に加え、１１月からは家事支援や家屋関連の軽作業等の生活支援も開始されるなど体制整備を進められております。</p> <p>この先進事例を参考に他の地域にも助け合い活動を進めてまいりたいと考えております。</p>
々	<p>次に、「食育の推進について」申し上げます。</p> <p>本町では幼児期から高齢者まで、様々な場面を通じて食育の取り組みを行っているところでございます。</p> <p>そのような中において、この活動の重要な役割を担っていただいている、川本町食生活改善推進協議会の会長を長年務めていただいた、杉本悦子^{すぎもと えつこ}さんが山陰中央新報社の第５１回社会賞を受賞されました。</p> <p>これは杉本前会長のご努力は勿論、長年取り組んでこられた会の活動の成果として、大変すばらしいことだと考えております。</p>
々	<p>つづいて、「夢や希望をはぐくむ教育・文化のまち」に関する動きについてであります。</p>
々	<p>はじめに、「学校教育について」申し上げます。</p> <p>７年目となる「学び合い学習」は、今年度、佐藤雅彰^{さとう まさあき}氏を招き、小・中学</p>

番外
三宅町長

校の教員を対象に授業改善の研修を行なっています。小学校から中学校までの9年間を通じて「学び合い学習」の取り組みを行い、本町の特色ある教育として進めてまいります。

々

次に、「教育環境の魅力化について」申し上げます。

日本サッカー協会が行う派遣事業「夢の教室」を10月23日に小学校5年生と中学校2年生のクラスで開催しました。今年は元サッカー選手としてサンフレッチェ広島で活躍された中島浩司^{なかじまこうじ}さんを夢先生として招き、トッププレイヤーとして活躍したアスリートの運動指導や豊富な体験を通じて、夢を持つことやその夢に向かって努力することの大切さ、仲間と協力することの大切さを学びました。

々

次に、「公民館活動について」申し上げます。

中央公民館では、タブレット教室を実施し、中高年の方々を中心に多くの皆様に参加をいただいております。また、50歳以上の方を対象とした悠々大学では「三江線を利用した川柳の旅」「そば打ち体験」を行いました。

西公民館におきましては、俳句教室や新たなサークル活動団体が発足するなど、新しい動きも現れております。

北公民館におきましては、住民主体で地域資料館がオープンし、今後の公民館活動の推進につながるものと期待しております。

々

次に、「社会体育について」申し上げます。

11月11日には第62回川本町一周駅伝競走大会を実施し、町内の自治会、職場、学校を中心に21チームの参加がありました。その中には邑智中学校野球部、島根中央高校から9チームもの参加をいただきました。

今年のコースは県道川本大家線の通行止めにより、昨年に続き川本と南佐木の往復のコースとなりましたが、町民の皆様にご協力をいただき、大いに盛り上がった大会となりました。

々

次に、「ベンチャーキッズスクールについて」申し上げます。

ビジネスやものづくり体験を通じ、起業や経営への関心を高める連続講座「ベンチャーキッズスクール」を開講し、川本小学校児童5人が、駅弁をテーマに商品開発に取り組みました。

11月19日には、飲食店や地域おこし協力隊、高校生の協力を得て、石見川本駅でエゴマ鴨や旬の食材を使用した駅弁60食を販売し、観光客に地元特産をアピールしました。

々

次に、「人権教育について」申し上げます。

12月4日から10日にかけての第69回人権週間に合わせて、人権尊重思想の普及高揚を図るため、12月7日に川本町人権を考えるつどいを悠呂

<p>番外 三宅町長</p>	<p>ふるさと会館で開催しました。</p> <p>今年度は、「子どもの人権」に焦点をあて、「好きになろう今の自分、表そう素直な気持ち」というテーマで、福永宅司氏^{ふくながたくし}を招き、講演会を実施しました。一人芝居の「君をいじめから守る」では、いじめに屈することなく、力を合わせて立ち向かうことの尊さを講師の方から学びました。</p>
<p>々</p>	<p>次に、「文化振興について」申し上げます。</p> <p>10月21日に悠邑ふるさと会館で、NHK公開録画「俳句王国がゆく」の収録を開催しました。</p> <p>昨年「NHK全国俳句大会」で最高賞の大賞を受賞された佐々木ミチ子さんが地元代表で出演するとともに、島根中央高校吹奏楽部も番組に花を添え、川本町をPRすることができました。</p> <p>また、11月4日には大ホールにて久しぶりとなる演劇事業として、劇団新制作座による「泥かぶら」を開催しました。美郷町出身の主人公による迫真の演技は、会場を訪れた多くの皆様に感動を与えました。</p>
<p>々</p>	<p>つづいて、「人と人が支え合う協働のまち」に関する動きについてであります。</p>
<p>々</p>	<p>はじめに、「島根中央高校について」申し上げます。</p> <p>部活動につきまして、カヌー部が10月1日から4日にかけて開催された第72回国民体育大会「愛顔をつなぐえひめ国体」に出場し、少年男子カヤックペア500メートルで、瀬上一樹・小畑陽一^{せがみかずき こはたよういち}ペアが7位入賞、男子カヤックフォア500メートルで、^{なかにしりょう ま しぶ た あつ し}中西 諒 磨・^{つ や ま た い ち}洪田篤志・^{た こ じ ま け い}津山泰地・蛸島慶組が8位入賞を果たしました。吹奏楽部においては、5年連続となる第23回日本管楽合奏コンテストへ11月5日出場し素晴らしい演奏を披露いたしました。</p>
<p>々</p>	<p>次に、「都市交流について」申し上げます。</p> <p>10月29日に広島川本会総会が開催され、川本町の近況報告を行うとともに、様々なご意見をいただきながら交流を深めることができました。</p> <p>今後は、より一層関係者の方々と連携しながら、川本町の大切な応援団として活動いただけるよう支援を続けていきたいと考えております。</p> <p>坂町との交流では、老人クラブ連合会が10月17日に、グラウンドゴルフの交流会を笹遊里を会場に行い、また、役員の交流として11月29日、30日に、来春廃止となる三江線乗車なども交えて行いました。</p> <p>11月16日には、自治会長連合会の交流が三島で行われ、グラウンドゴルフを楽しみました。これからも、より一層両町の交流を深めてまいりたいと考えております。</p>

番外
三宅町長

次に、「企業誘致について」申し上げます。

株式会社三協につきましては、来春の操業開始に向け、「島根川本工場」の建設工事が計画どおり進められております。

工場用地整備の第2期工事は、旧ライスセンター周辺や洪水調整池の整備等が10月末で完了いたしました。

人材確保では、現在、19人が幹部候補生として富士市の本社工場において研修中であります。また、来春の就職に向け、島根中央高校の生徒も内定を受けております。

10月に総務省の「ふるさとテレワーク推進事業」の交付決定を受け、来年3月にウェブ制作などを手掛ける松江市の「有限会社W i l l さんいん」が音楽研修棟で、業務を開始します。また、テレワークという新たな働き方等の普及・啓発に向け、12月13日に悠邑ふるさと会館でシンポジウムを開催いたします。

々

次に、「ふるさと納税について」申し上げます。

ふるさと納税につきましては、川本町出身者をはじめ多くの皆様から寄附をいただいております。11月15日現在の寄附状況は、151件、494万3千円となっております。

返礼品として、ツガニ、鮎甘露煮、三原米、エゴマ商品など旬の特産は大好評をいただいておりますが、11月に本町のエゴマ生産者がテレビ番組で全国放映された以降、エゴマ油も2倍以上に急増しております。

国は、ふるさと納税のさらなる活用に向け、平成30年度から、クラウドファンディング型の「ふるさと起業家支援プロジェクト」と、ふるさと納税をきっかけに移住・定住を促す「ふるさと移住交流促進プロジェクト」を進めていくこととしており、動向を注視しながら、積極的に取り組んでいきたいと考えております

々

次に、「窓口でのおもてなしについて」申し上げます。

今年度、11月末現在で、婚姻6件、出生13件、転入87人81件の届けがあり、窓口にて記念の品をお渡ししております。

また、婚姻と出生の届出書につきましては、川本らしいオリジナルの届出書を作製する予定としております。準備ができ次第、新しい届出書に切り替えて記念の日をお祝いしたいと考えております。

今後も、「おもてなし」の心を持ち窓口対応に努めてまいります。

々

今定例会に提案しました案件は、条例案件3件、予算案件4件であります。

後ほど、担当課長から、これらの説明をさせますので、慎重なご審議をいただき、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。行政報告とさせていただきます。

議 長	以上で、「町長行政報告」を終わります。
々	ここで暫時休憩をします。１０時２０分より会議を再開します。 (午前１０時０７分)
議 長	はい、会議を１分遅れで再開します。 (午前１０時２１分)
々	お諮りします。 この際、日程第５「議案第８１号、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」から、日程第１１「議案第８７号、平成２９年度川本町農業集落排水処理事業特別会計補正予算（第１号）」までを一括議題にしたいと思いますが、これに異議はありませんか。 (「異議なし」の声あり) 異議なしと認めます。
々	よって、そのように「決定」しました。
々	執行部から、議案ごとに順次提案理由の説明を求めますが、今議会におきましては、提案説明者並びに事務局長からの議案書の朗読は省略します。 それでは執行部から、議案ごとに順次提案理由の説明を求めます。
々	まず、日程第５「議案第８１号」から、日程第６「議案第８２号」について説明を求めます。番外森川総務財政課長。
番外森川総務財政課長	それでは「議案第８１号」について、ご説明を申し上げます。 本議案は、「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」であります。今回の条例の一部改正は、人事院勧告に基づき職員の給与改定等の所要の改正を行うものでございます。１４ページの説明資料で、ご説明をさせていただきますので、資料の１４ページをお開き下さい。 先ほども申しましたが、今回の条例の一部改正は人事院勧告に伴い、国家公務員給与法が改正され、それに基づき職員の給与改定等所要の改正をするものでございます。 条例の概要をご覧下さい。 １点目でございますが、職員の給料表を人事院勧告に伴い改定となりました給料表に改正するものでございます。平均０．２％の引き上げとなります。 ２点目でございますが、職員の勤勉手当の支給割合について、０．１０月分引き上げるもので、現在の年間１．７月を１．８月にするものでございます。平成２９年度分につきましては、１２月支給分に０．１０月分を加えさせていただきます、現行の０．８５月を０．９５月に。そして３０年度以降は６月、１２月分とも０．０５月分を加え、それぞれ０．９０月とするものでござ

番外森川総務財政課長

ざいます。

また同様に、再任用職員につきましては、現在の年間の0.80月分を0.85月分に0.05月分に引き上げるものであります。平成29年度分は12月支給分に0.05月分を加え、0.450月に。30年度以降は6月、12月分とも0.025月分を加え、それぞれ0.425月とするものでございます。

なお、この条例は公布の日から施行するものであります。ただし、第2条の規定、この第2条は、平成30年度以降の勤勉手当の改正に掛かるものでございますが、この規定は、平成30年4月1日から施行するものであります。

また、第1条の規定による改正後の職員の給与に関する条例の規定は、これは給料表の改正と平成29年度分の勤勉手当の改正に係わるものでございますが、これにつきましては、平成29年4月1日から適用するものでございます。

この度の改正は同一個所の2カ所が2次にわたり改正される、多段改正になっております。

以上、ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

々

続きまして、「議案第82号」について、ご説明申し上げます。

本議案は、「消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」であります。今回の条例の一部改正は、9月の定例会の全員協議会でご説明を申し上げました消防団の再編に伴う改正でございます。現在の消防団は4分団体制で、団員175名。定員に対する充足率98%ではありますが、分団によっては団員の確保が難しくなっている分団もありますので、このたび第3分団につきまして隣接の各分団との再編を行うもので、現在の4分団体制が3分団体制になるものでございます。

1ページめくっていただきまして、ページ番号1の改正文をご覧ください。今回の条例の一部改正、第2条第1項中に分団長の人数を規定しておりますが、今回の分団の再編により分団長の人数を4人から3人に変更するものでございます。

なお、この条例は、平成30年4月1日から施行するものでございます。

以上、ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

議 長

次に、日程第7「議案第83号」について、説明を求めます。
番外左田野健康福祉課長。

番外左田野健康福祉課長

「議案第83号、川本町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について」説明致します。最終ページ、2ページの新旧対照表の下に改正理由の説明をつけておりますので、そちらをご覧ください。

65歳になり第1号被保険者の資格を得られた方は、住民税の課税状況等

番外左田野 健康福祉課 長	<p>による保険料の申告が必要です。現在の条例では、町民税の申告をされた方も、それとは別に介護保険料のための申告をしていただく必要があります。しかし、別々に申告する事は負担となるばかりでなく、現実的な対応ではないため、町民税の申告等がされている場合には、介護保険料の申告が為されたものとみなす事が出来るよう、介護保険条例に必要な改正を行うものでございます。</p> <p>附則として、この条例は、公布の日から施行する事と致します。 ご審議のほど、よろしくお願い致します。</p>
議 長	<p>次に、日程第8「議案第84号」について説明を求めます。 番外森川総務財政課長。</p>
番外森川総 務財政課長	<p>それでは、「議案第84号」について、ご説明申し上げます。</p> <p>本議案は、「平成29年度川本町一般会計補正予算（第4号）」で、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ14,028千円を追加し、歳入歳出の総額を、歳入歳出それぞれ4,250,824千円とするものでございます。予算説明資料でご説明しますので、予算説明資料の22ページをご覧ください。</p> <p>それでは、歳出からご説明を申し上げます。その中でも主なものを説明をさせていただきます。</p> <p>まず最初に、1款議会費から10款教育費までの職員の給与手当につきまして、人事院勧告に伴う給料表改定及び勤勉手当について、0.1月分の改正により増額すること並びに時間外勤務手当の予算が不足しておりますので合わせて増額補正をさせていただくものでございます。給料、手当、共済費も含めまして合計で6,577千円の増額でございます。</p> <p>次に、2款総務費でございます。民間住宅整備支援事業補助金6,000千円の減額は、9月議会で補正をさせていただきました、三原地区に民間企業が建設する集合住宅の補助金につきまして、単身用8戸を建設する予定でありましたが、単身用6戸に変更となりました。その減となった2戸分6,000千円を減額するものでございます。</p> <p>次に、三江線代替交通導入に要する経費5,713千円は、三江線の代替交通を運行するにあたり必要となる車庫及び休憩所にかかる費用、並びに9月補正で予算計上したバス停留所のうち3カ所につきまして、屋根付きのバス停を設置するもので、その経費を計上しており増額するものでございます。全額JRの負担で実施するものでございます。</p> <p>次に、まげなねっと光ケーブル支障移転費4,500千円は、まげなねっとの光ケーブルにつきましては単独の柱に設置する以外は、殆どは中国電力の柱やNTTの柱に添架しております。それらの電柱の移転が発生した場合には、光ケーブルを合わせて移転しなければなりません。その費用につきまして、町で支払う事になっており、その件数が今年度大幅に増えた為、増</p>

番外森川総務財政課長

額するものでございます。なお、例えば県道の拡幅工事などの工事によって移転が生じた場合には、県の補償費で移転工事を行っている状況でございます。次に、オリジナル婚姻届・出生届の作成費用46千円は、現在、窓口おもてなし事業で婚姻届や出生届をされた時にお祝いを行っておりますけれども、そのおもてなし事業の1つとして、本町オリジナルの婚姻届・出生届のデザインを作成しました。島根中央高校美術部にオリジナルデザインの作成を依頼し、参加した11人の生徒が川本らしさを考案し、結婚する方や生まれてくる赤ちゃんへの思いを込めて原案を作成しました。この原案を元に地域おこし協力隊が届出書を完成させました。そのデザイン入りの各届出書を印刷する経費でございます。

次に、3款民生費についてです。国民健康保険特別会計への繰出金19,898千円の減額は、国民健康保険事業特別会計におきまして、前期高齢者交付金の額が過年度の追加交付など大幅に増加したため、財源不足を補うため、予定していた繰出金を減額すること。また、福祉医療費助成など、一般会計からの繰出については、増額したものもございますが、差し引き致しまして19,898千円を減額するものでございます。次に、子供のための教育・保育給付費6,875千円は、保育所の運営費でございますが、保育所の途中入所の増加による実績に伴い増額するものでございます。特に、高額となる乳児の入所が増えたものでございます。次に、生活保護扶助5,993千円は、医療扶助などの実績の増加により増額するものでございます。

次に、4款衛生費についてであります。火葬場運営費負担金1,150千円は、美郷町と共同で運営している眺江苑の施設周辺につきまして、樹木が大きくなり施設への影響がある事や、周辺水路に落ち葉や土が埋まり施設周辺の環境が悪化している事から、それらを改善する為の整備工事を実施したいと考えております。その工事費2,300千円のうち本町負担分の2分の1を新たに負担金に加えるものでございます。

次に、6款農林水産業費、農業集落排水処理事業特別会計繰出金2,430千円は、現在、工事中の誘致企業の工場に接続する管路布設工事費について農業集落排水処理特別会計へ繰り出すものであります。

8款土木費についてであります。町道維持管理業務委託2,009千円は、台風18号及び21号による豪雨に伴い、被災した箇所への復旧業務並びに冬の倒木等に対応する為の費用として増額するものであります。

次に、10款教育費、北公民館の管理運営委託491千円の増額と、北公民館嘱託職員人件費489千円の減額は、現在の北公民館嘱託職員の方がご都合によりお辞めになる事になりましたので、その後の管理運営につきまして、現在、一部事業について委託をさせていただいている三原の郷未来塾の方へ委託をするものであります。人件費を減額し委託費を増額するものでございます。

々

次に、歳入についてご説明申し上げますので、1ページ戻っていただきま

番外森川総
務財政課長

して、21ページをご覧ください。歳入につきましても主なものをご説明をさせていただきます。

まず、11款分担金及び負担金、老人福祉施設入居者負担金3,534千円は、養護老人ホームの入居者の負担金でございますが、所得の見直しにより負担金が増加するものでございます。

13款国庫支出金、生活保護費負担金4,494千円は、医療扶助などの実績の増加により増額するものであります。同じく13款、子どものための教育・保育給付費負担金4,326千円と14款の県支出金、子どものための教育・保育給付費負担金は保育所の運営費の関係でございますが、保育所の途中入所児の増加など実績に伴い増額するものでございます。同じく14款県支出金でございます。しまね定住推進住宅整備支援事業補助金12,705千円は、9月補正で予算計上しました民間企業が建設する集合住宅に対する補助金に県からの補助があたる事になりましたので、新たに予算計上するものでございます。今回の補正予算の歳出でもご説明しましたが、単身用8戸が6戸になりましたので、町からの補助金は6戸分で18,000千円になりました。この町からの補助金18,000千円に対し、県からの補助金が12,705千円でございます。なお、9月補正予算時には県からの補助金が財源としてあたるか不明でありましたので、その時点では一般財源で対応しておりました。

次に、19款諸収入でございます。三江線代替交通導入費5,713千円は、三江線代替交通を運行するにあたり必要となる経費の財源でありまして、全額JRの負担でございます。

次に、20款町債、過疎対策事業債3,400千円は、江津邑智消防組合が整備する高規格救急自動車の本町負担分につきまして、当初予算では当事業について過疎債が対象になるか不明であった為、一般財源での負担を予定しておりましたが、過疎債対応が出来る事になった事から各構成市町が過疎債を借り入れ、その負担分金に充てる事になりました。よって、新たに本町の負担分について3,400千円を借り入れるものでございます。

次に、ちょっと戻りまして17款の繰入金でございます。財政調整基金繰入金26,000千円の減額は、民間住宅整備支援事業補助金で先ほどご説明しました江津邑智消防組合が整備する、高規格救急自動車の本町の負担金について、補正前では一般財源を充てる事としておりましたが、それぞれ県の支出金、あるいは過疎債を借りて充てる事にしました。また国保特別会計の繰出金を取りやめるなど、一般財源の出が減額となりました。この結果、今回の補正予算の収支の中で取り崩しを予定しておりました、財政調整基金26,000千円を取り崩しを取りやめるものでございます。

次に、23ページをお開き下さいませ。「第3表 地方債の補正」の関係でございます。先ほど説明しました、消防施設整備事業で3,400千円を増額するものでございます。この結果、今年度の地方債の発行額は546,900千円となる見込みであります。なお、臨時財政対策債を除いた地方債

番外森川総
務財政課長

発行額は461,000千円となる見込みであります。

次に、基金でございます。財政調整基金26,000千円の取り崩しを取りやめ、新たに学校教育施設整備基金387千円と、ふるさと思いやり基金150千円の取り崩しを行います。この結果、今年度末の財政調整基金、減債基金、及び特定目的基金の合計額は1,893,618千円の見込みとなります。

次に、債務行為の関係でございます。資料を前の方に戻っていただきまして、4ページをご覧ください。

第2表、債務負担行為の関係でございます。2件ほど出しておりますけれども、まず1点目ですけれども、高齢者生産活動センター指定管理委託につきまして、今年度で委託期間が満了となります。その指定管理者を選定し、施設管理を委託をするにあたり、平成30年度から平成34年度までの5年間2,500千円を限度として債務負担行為を設定するものであります。また、スクールバス運行业務委託につきまして、今年度で業務委託期間が満了となりますので、運行业者を決定し運行业務委託をするにあたり、平成30年度から平成34年度までの5年間71,395千円を限度として債務負担行為の設定をするものであります。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

議 長

次に、日程第9「議案第85号」について説明を求めます。

番外左田野健康福祉課長。

番外左田野
健康福祉課
長

それでは「議案第85号、平成29年度川本町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）」について、説明させていただきます。

今回の補正予算は、歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ34,895千円を追加し、歳入歳出予算総額を611,380千円とするものでございます。最終ページ、10ページに資料を付けておりますので、そちらをご覧くださいと思います。

まず、歳出ですが、総務費につきましては職員給与改定に伴う補正でございます。保険給付費については今年度中盤から医療費が高めに推移しておりますので、それらに対応するため一般被保険者に係る療養給付費を32,520千円増額いたします。後期高齢者支援金、及び介護納付金につきましては今年度の拠出額が決定されましたので、それにあわせて802千円、1,152千円、それぞれ増額するものでございます。

歳入につきましては、いちばん大きいものは前期高齢者交付金が予算に比べ85,289千円と大幅に増額交付される事となったことに伴うものでございます。この85,000千円のうち今年度の交付の増額分が49,515千円。前々年度の精算による追加交付分が35,774千円でございます。通常、歳出において療養給付費が増額となる場合は国庫支出金の療養給付費負担金、及び普通調整交付金、県支出金の普通調整交付金が増額となるとこ

番外左田野 健康福祉課 長	<p>ろでございますが、前期高齢者交付金が大幅な増額となった事に伴いまして、歳出計算を行った結果、先ほど申しました国庫金等につきまして、それぞれ15,983千円、3,497千円、2,997千円とそれぞれ減額となる事となりました。それ以外では、一般会計の繰入金につきましては、福祉医療助成費繰入金等によるものでございます。これらの財源調整を行うため、財政調整繰入金につきましては、22,053千円全額を減額すると共に、基金からの繰入金を8,019千円減額する事といたしました。これらによりまして補正後の基金残高は23,173千円となる予定でございます。</p> <p>以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願い致します。</p>
議 長	<p>次に、日程第10「議案第86号」から、日程第11「議案第87号」について説明を求めます。番外宇山地域整備課長。</p>
番外宇山地 域整備課長	<p>「議案第86号、平成29年度川本町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）」について、説明を致します。</p> <p>今回の補正と致しまして、歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ41千円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ408,963千円とするものと債務負担行為の上限額設定の追加でございます。</p> <p>内容につきましては、最終の9ページに予算説明資料を付けておりますので、ご覧下さい。</p> <p>まず、歳出でございますが、一般管理費におきまして、給与改定に伴います上下水道係3名分の人件費、合計157千円の増額であります。職員1名につきまして、扶養手当見直しにより198千円の減額がございましたので、差し引きまして41千円を減額するものでございます。</p> <p>歳入につきましては、同様の理由により繰入金のうち水道事業基金繰入金を41千円減額するものでございます。</p> <p>次に、債務負担行為補正につきまして、戻りまして3ページをご覧下さい。検針業務から請求収納事務を行う水道料金システムが、来年度30年12月にリース期間満了を迎えます。31年の1月より、このシステムを稼働させる為には、来年度4月早々に委託契約を結びシステムの構築にかかる必要がある為、本年度中に業者を選定する必要があります。そのシステム導入経費分のみについて、債務負担行為の限度額8,000千円の設定をしていくものでございます。</p> <p>なお、業者は公募型プロポーザルにて選定予定でございます。</p> <p>以上、ご審議のほど、よろしくお願いを致します。</p>
々	<p>次に、「議案第87号、平成29年度川本町農業集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）」について説明を致します。</p> <p>今回の補正と致しまして、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2,680千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ61,901千円とする</p>

番外宇山地 域整備課長	<p>ものでございます。内容につきましては、最終の 7 ページに予算説明資料を付けておりますので、ご覧下さい。</p> <p>まず、歳出でございますが、集落排水処理事業費におきまして、南佐木地内の三協工場排水設備に伴います管路の新設工事請負費 2, 4 3 0 千円、及び新規加入分担金の積み立てをする 2 5 0 千円を増額するものでございます。</p> <p>歳入におきましては、管路工事費の一般会計からの繰入金を 2, 4 3 0 千円、新規加入分担金の 2 5 0 千円をそれぞれ増額するものでございます。</p> <p>以上、ご審議のほど、よろしくお願い致します。</p>
議 長	<p>以上で、執行部からの提案理由の説明を終わります。</p>
々	<p>それでは、「議案第 8 1 号」から「議案第 8 7 号」までの 7 件について、全体審議、質疑を行います。</p>
々	<p>これより全員協議会に切り替えます。 (午前 1 0 時 5 0 分)</p> <p>(全員協議会に切り替える、議案第 8 1 号から議案第 8 7 号までの質疑)</p>
議 長	<p>以上をもって「議案第 8 1 号」から「議案第 8 7 号」までの 7 件について、全体審議、質疑を終了します。</p>
々	<p>ここで本会議を再開します。</p>
々	<p>以上をもって、本日の議事日程はすべて終了しました。 (午前 1 1 時 1 9 分)</p>

この会議録は、川本町議会事務局長 櫻本 博志 が記載したもので、その内容において、正確である旨を証するためここに署名をする。

川本町議会議長

川本町議会議員

川本町議会議員